

令和 6 年 6 月 6 日現在

機関番号：34517

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2020～2023

課題番号：20K02808

研究課題名(和文) フランスにおける市民・道徳・宗教に関する教育の学際的研究

研究課題名(英文) Interdisciplinary research on civic, moral, and religious education in France

研究代表者

大津 尚志(Otsu, Takashi)

武庫川女子大学・学校教育センター・准教授

研究者番号：40398722

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,700,000円

研究成果の概要(和文)：4年間にわたり、フランスの市民、道徳、宗教教育について学際的に(専門分野を公民教育、憲法学、国際関係論、教育行政学とそれぞれ異にするものであつまって)研究することができた。研究成果としては研究代表者は単著をかくことができたほか、他にも共著、論文、学会発表等におよぶことができています。なお、コロナの影響があり予定通りに渡仏して研究することはできなかつた。1年延長して4年目になつても年度末に渡仏したが、そのときにえた情報などについては、まだ研究成果としてアウトプットをだすことができない状態にある。その点は後日とさせていただきます。

研究成果の学術的意義や社会的意義

フランスの道徳、市民、宗教教育については、現在イスラームの問題があることからフランス国内でもさまざまな議論が行われているところである。公立学校、私立学校の双方について教育制度について研究し、宗教がどのような扱われ方をしているかを明らかにすることは意義のあることと考える。

研究成果の概要(英文)：Over the past four years, we have been able to conduct interdisciplinary research on civic, moral, and religious education in France (with different specialties in civic education, constitutional law, international relations, and educational administration). As a result of the research, the principal researcher was able to publish a book, as well as other papers, articles, and presentations at academic conferences. Due to the influence of the corona virus, we were not able to go to France to conduct research as scheduled; we extended our stay by one year to the fourth year and went to France at the end of the fiscal year. we would like to publish articles concerning the information we got at a later date.

Translated with DeepL.com (free version)

研究分野：社会科・公民科教育法

キーワード：フランス 道徳教育 市民教育 宗教教育

### 1. 研究開始当初の背景

フランスにおいて「市民育成をめざす」ことは公教育の中心におかれていることである。そのために、道徳・市民教育という教科が存在する。2013年ペイヨン法をうけて、2015年に新たな学習指導要領が公布されて「道徳・市民」科で教えるべき内容が定められた。それは若干の改訂をふくみながらも現在にまで至っている。

公立学校においては、2015年以来「道徳・市民教育」科が小学校から高校まで必修とされている。小学校においては「感受性」の教育が新たに加わったことが特に着目に値する。「価値観の多様性」を前提としたうえで、公立学校においてどのような価値教育を行うのか。「考えの多様性」を教えるなど、従来の市民教育にくわえて、今後着目すべきところである。それは、道徳が教科化され、新科目「公共」が必修となる動きのあるなか、外国にルーツを持つ子どもが増加しつつあり、「多文化共生」を教える必要性が高まる日本の現状にとって、示唆に富むものとなる。コレージュ、リセではそれぞれに「道徳・市民」科学習指導要領が告示されているが、これまでとの異同を明らかにする必要がある。

フランスにおいて私立学校は生徒数の約2割を占めている。そのほとんどが宗教系である。宗教教育の自由が一定範囲である。イスラーム系の私立学校も新設されるに至っている。近年になってようやくイスラーム系学校が増加しはじめている。日本においても研究が緒についてきているが、さらなる発展が必要である。

フランスにおいては、2015年の同時多発テロが生じたこともあり、イスラームという「新興勢力」と伝統的な「共和国」の共存という問題をどう解決するかが注目を集めてきている。

### 2. 研究の目的

フランスの道徳、市民、宗教教育についてその実態を明らかにする。公立学校、私立学校の双方についてその実態を明らかにすることを目的とする。それは先行研究がある程度は存在するものの、その不十分なところをさらに補うことができるものであり、独自性のあるものと考えることができる。

日本において、「特別の教科道徳」あるいは「公共」に関する教育がはじまっているところであるが、日本の道徳教育やシティズンシップ教育、学校での宗教の扱いなどを考えるうえでの示唆をうけることが可能になるものとする。

### 3. 研究の方法

専門を異にする研究代表者(社会科・公民科教育論)研究分担者(憲法学、国際関係論)研究協力者(教育行政学)によってそれぞれの視点から研究を行い、相乗効果をねらって研究成果をあげる。多分野からのアプローチが可能となる研究テーマである。方法としては文献研究(フランス人による文献、教科書などの資料、法律関係の書物など)と現地調査研究(公立学校、私立学校の双方を実際に訪問してみる)が中心になる。学校訪問により実際の道徳・市民教育がどのように行われていることを見ることは、文献のみの情報を補強するものとして有益である。

### 4. 研究成果

研究代表者は単行本「フランスの道徳・市民教育」(晃洋書房、2023年)をだすことができた。それは、「道徳・市民教育」に関する歴史的背景から、小学校・コレージュ・リセ各段階における「道徳・市民教育」や多教科・領域における市民教育など、多角的に言及するものとして一冊にまとめることができた。それは私立学校における宗教教育にも言及している。

それ以外にも校則関係の本(道徳・市民教育とかかわりがある。フランスにおいては校則=学校における法律という見方があり、市民教育とかかわる分野である)を複数共著でだすことができた。他にも、フランス教育学会紀要や日仏教育学会年報、社会科教育研究(日本社会科教育学会)といった学会誌(査読付き論文を含む)および、勤務先の大学紀要や高校生活指導という高校教諭むけの一般雑誌にも投稿することできた。大学紀要に投稿したものは、公立学校を扱うもの、私立学校を扱うものの双方がある。

研究分担者も関係する書籍、論文を大学紀要などに投稿するなどして、成果をあげることができている。

ほかにも、研究代表者、分担者は学会口頭発表(フランス教育学会、日本教育法学会、日本国際文化学会など)および関係プロジェクトやセミナーなどで、発表をおこない、成果をあげることができている。

研究期間中にコロナという予期せぬ出来事があり、当初の予定通りにフランス訪問することはできなかった。科研の期間を1年延長して、4年目の年度末に研究代表者(1名)、研究分担者(2名)、研究協力者(1名)の合計4名はフランスを訪問することができ、関係する情報収

集や学校訪問をすることができた。そのときえた情報を生かした論文を執筆することは時期の関係でいまだできていない。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計14件（うち査読付論文 5件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 大津尚志	4. 巻 34
2. 論文標題 コレージュにおける道徳・市民（EMC）の教育内容	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 フランス教育学会紀要	6. 最初と最後の頁 9,18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大津尚志	4. 巻 29
2. 論文標題 ペイヨン法下2015年版学習指導要領に基づく小学校道徳教育の理論と方法	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日仏教育学会年報	6. 最初と最後の頁 77-87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大津尚志	4. 巻 18
2. 論文標題 フランスの高校における『道徳・市民』科カリキュラム	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 教育学研究論集	6. 最初と最後の頁 40,47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 MATSUI Shinnosuke	4. 巻 5
2. 論文標題 "Armenian Schools In France From The Viewpoint A Japanese Sociologist"	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Eastern Asian Studies	6. 最初と最後の頁 127,140
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大津尚志	4. 巻 17
2. 論文標題 フランスの私立学校に関する資料と研究動向	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 教育学研究論集	6. 最初と最後の頁 75-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大津尚志	4. 巻 33
2. 論文標題 中学・高校における『校則』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 フランス教育学会紀要	6. 最初と最後の頁 153-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大津尚志	4. 巻 51(10)
2. 論文標題 校則を考える ~歴史をさかのぼる、今後の課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊生徒指導	6. 最初と最後の頁 14-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大津尚志	4. 巻 90
2. 論文標題 神戸市の標準服・制服を考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 兵庫民研だより	6. 最初と最後の頁 2-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松井真之介	4. 巻 98
2. 論文標題 ヒズメット運動による学校建設の役割と現状 ヨーロッパ諸国を例に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 宮崎大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 21-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 橋本一雄	4. 巻 54
2. 論文標題 フランス第三共和制成立期における「教育の自由」概念についての考察	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 47-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大津尚志	4. 巻 141
2. 論文標題 フランスにおける社会科系教科の教員養成と研究動向	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 社会科教育研究	6. 最初と最後の頁 96-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大津尚志	4. 巻 210
2. 論文標題 フランスの高校教育課程	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高校生活指導	6. 最初と最後の頁 114-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大津尚志	4. 巻 210
2. 論文標題 フランスの学校 パリ郊外のジャン・ゼイ高校	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高校生活指導	6. 最初と最後の頁 122-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本一雄	4. 巻 32
2. 論文標題 フランス情報 在外研究について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 フランス教育学会紀要	6. 最初と最後の頁 111-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

[学会発表] 計9件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 大津尚志
2. 発表標題 米仏のいじめ対策に関する立法動向
3. 学会等名 日本教育法学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松井真之介
2. 発表標題 開かれた学校? 閉じられた学校? フランスにおけるアルメニア学校の建設と運営
3. 学会等名 欧州学フォーラム2022 ヨーロッパ 圏における共存 vs. 覇権
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 橋本一雄
2. 発表標題 憲法と道徳教育 - 子どもの思想・良心を形成する自由について -
3. 学会等名 憲法・政治学研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大津尚志
2. 発表標題 コレッジにおける道徳・市民科（EMC）の内容
3. 学会等名 フランス教育学会 第39回大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松井真之介
2. 発表標題 フランスはフランス語だけじゃない？ フランスにおける『地域語』文化の世界と現状
3. 学会等名 宮崎大学多言語多文化教育研究センター主催シンポジウム
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 橋本一雄
2. 発表標題 フランスにおけるイスラム系移民の食文化とライシテ - フランス共和主義の普遍性と多様性と平等（エガリテ）の原則 -
3. 学会等名 中村学園大学ハラルプロジェクト研究2021 第6回ハラルセミナー「食の多文化 共生の視点からハラルを考える」
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 松井真之介
2. 発表標題 ヒズメット運動による学校建設の役割と現状：ヨーロッパ諸国を例に
3. 学会等名 日本国際文化学会 2020年全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松井真之介
2. 発表標題 土台が違えば常識も違う 身近な「政教分離」から考える日仏比較
3. 学会等名 第81回 宮崎大学イブニングセミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高橋梓、松井真之介、山川清太郎
2. 発表標題 人文学で未来を切り開く - フランス語圏文化研究を用いた ケースメソッド教授法の展開可能性 -
3. 学会等名 ICPカンファレンス2020
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 大津尚志	4. 発行年 2023年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 128
3. 書名 フランスの道徳・市民教育	

1. 著者名 伊藤良高・大津尚志・香崎智郁代・橋本一雄編	4. 発行年 2023年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 136
3. 書名 改訂版 保育者・教師のフロンティア	

1. 著者名 伊藤 良高、宮崎 由紀子、香崎 智郁代、橋本 一雄、岡田 愛	4. 発行年 2022年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 194
3. 書名 新版 保育・幼児教育のフロンティア	

1. 著者名 内田 良、山本 宏樹	4. 発行年 2022年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 238
3. 書名 だれが校則を決めるのか	

1. 著者名 大津尚志	4. 発行年 2021年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 142
3. 書名 校則を考える	

1. 著者名 河崎仁志、斉藤ひでみ、内田良、大津尚志ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東洋館出版社	5. 総ページ数 264
3. 書名 校則改革	

1. 著者名 伊藤良高、宮崎由紀子、香崎智郁代、橋本一雄、岡田愛 ほか	4. 発行年 2022年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 194
3. 書名 新版 保育・幼児教育のフロンティア	

1. 著者名 伊藤良高、大津尚志、橋本一雄、荒井英治郎編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 144
3. 書名 新版 教育と法のフロンティア	

1. 著者名 浦野東洋一、勝野正章、中田康彦、宮下与兵衛、大谷岩夫、原健、松林隆幸、日永龍彦、横手加津彦、宮盛邦友、小池由美子、大津尚志、柳澤良明、武井哲郎、坪井由実	4. 発行年 2021年
2. 出版社 同時代社	5. 総ページ数 306
3. 書名 校則、授業を変える生徒たち	

1. 著者名 市川正人 = 倉田玲 = 小松浩編著、伊藤嘉規 = 上出浩 = 植松健 = 大西祥世 = 君島東彦 = 倉田原志 = 栗田佳泰 = 坂田隆介 = 多田一路 = 橋本一雄 = 羽瀨雅裕著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 256
3. 書名 憲法問題のソリューション	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	橋本 一雄  (Hashimoto Kazuo)  (30455084)	中村学園大学短期大学部・幼児保育学科・准教授    (47118)	
研究分担者	松井 真之介  (Matsui Shinnosujke)  (70533462)	宮崎大学・多言語多文化教育研究センター・准教授    (17601)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------